

いわて東北メディカル・メガバンク機構  
メディカルメガバンクフェロー

派遣先： 県立久慈病院

## 三條 克巳 先生

**Katsumi Sanjo**

1976年生まれ。岩手県盛岡市出身。  
精神科医。岩手医科大学医学部卒業。

この4月からメガバンクフェローとして県立久慈病院に赴任している、神経精神科の三條先生にお話を伺います。久慈病院に着任されて半年、地域の印象を教えてください。

久慈病院には5、6年ほど前から、2週に1回診療に来ていました。4月からはフェローとして常勤しています。久慈地域は、医療系の取り組みに関して特に行政の方や保健師さんたちの理解が高い印象があります。久慈地域は厚生労働省の自殺対策をやっていた経緯もあって、すでに地域住民と行政や福祉とのネットワークが存在している。それは、久慈地域の強みだと思います。

震災直後にも被災地にも出向いていらっしゃいましたよね。当時の様子は？

久慈病院では、確かに震災による抑うつ等で受診数は増えました。しかし、予想していたよりは多くなかった。もっと多くの人が受診すると思っていました。久慈地域に関しては、先に話したように地域のネットワークがとても強い。震災の時も、おそらく行政や保健師さんたち

が地域の中で「この状況を何とかしよう」と動いてくれて、住民と医療との間でクッションになってくれたのだと思います。あくまで推測ですが、地域のネットワークが地域住民に介したことで病院受診件数を減らし、医療現場の混乱を防いでくれたのだと思います。

震災から2年、いまの久慈市の精神医療の現状を教えてください。

最初は震災の話はありましたが、去年あたりから診療中にはあまり聞かないです。根本には震災の影響はあるけれど、受診する直接の理由ではなくなってきたように感じます。震災後仕事がなくなくなったことで日中から酒を飲むようになり、アルコール依存症になるとか、家になくなったことで転居せざるを得なくなり、生活環境や仕事環境の変化に適應できず抑うつになることも多いです。今、実際に受診している患者さんは、震災による二次的な影響が大きいと思います。震災直後の不安や混乱の時期が過ぎ、生活上の現実的な問題かできてきて、受診している人がほとんどです。

想像していたこととまったく違っていて衝撃です。現状が県内にも伝わりきれいていない。

震災後の様々な変化から生活上の問題を抱える人はたくさんいると思うけれど、病院や医療は、自分たちから家庭や日常生活までは入って行けないのが現状です。病院を受診してくれば治療をすることができのですが、なかなか受診しないですね。この辺は、農業や漁の仕事をしている人は、仕事が来ない雨の日には病院を受診しない。…というかが、受診できない人もいます。

受診できない理由はどういったことなのでしょうか。

これは精神科だけでなく他科も同じですが、特に高齢者などは移動手段がなく、受診したくても医療という段階まで来れない人がたくさんいます。

高齢者の受診も増えていきますか？

直接精神科を受診することも多いですが、高齢者は身体症状を訴えて身体科を受診する割合も多く、神経内科や脳神経外科などの受診も増えていっています。そういった身体科から相談される割合も増えていきます。



子どもたちはどうですか？

久慈病院精神科を受診する子どもや中学生の悩みは、不登校とか、その年代ならではの悩みが多いです。震災という話はほとんど出てこないです。震災後に

引越して、その後の適応障害とかはありますが、子供たちが診療を受ける直接的な原因として「震災」を訴えることは少ないです。ただ、子供たちは震災の影響を受けていたとしても大人のように言語的に表現できていない可能性もあるので、周囲が注意深く見守る必要はあると思います。

インタビューをしながら、被災地の現状を正しく知り、正しく伝える事も機構の役割だと感じました。

そうですね。特に健診は、「現状」に接することができる良い機会だと思います。僕たち医療者は、病院にいても気づかないことがたくさんあります。この事業を実施する事で、地域で何が起きているかを見たり、聞いたりできる貴重なチャンスだと思っています。

メガバンク機構が地域に出来ることはどのようなことでしょうか？

社会生活の悩みが多くなってきている今、医療だけで被災地住民の皆さんをサポートすることは難しいです。個人的には震災直後に比べて、中心にあるのは医療ではなくなってきたと思います。生活の場を少しバックアップできる体制が被災地には求められていると思います。ただ、医療で出来ることにも、行政ができることにも限界がある。地域と行政の強いつながりのある久慈地域に、メガバンク機構が入っていくことで、その連携の一端を担い、相互の負担を緩和しながら連携を強化していきたい。それが機構の重要な役割だと思っています。